

京都文化交流 コンベンションビューロー通信

4²⁰²⁶月号

KYOTO
CREATION BUREAU

CONTENTS



令和7年度「会員の集い」の様子

- P1…令和8年度事業について
- P2…京都への国際会議等の誘致状況
- P2…海外プロモーション (AIME2026に参加)
- P3…令和7年度京都市 MICE 会議
- P3…「もうひとつの京都」を発信する MICE プランニングガイド
- P3…万博の成果を未来へつなぐ、京都のレガシー創出
- P4…ポッドキャスト配信&街かど古典カフェ、古典の日録巻第15巻
- P4…京都迎賓館参観記念品に新アイテム登場
- P4…京都文化振興友の会の新規会員募集中
- P4…当財団のホームページのリニューアルについて

令和8年度の事業について

昨年、我が国の訪日外国人観光客数が4,200万人を超え、観光消費額と共に過去最高となるなど観光が基幹産業として成長を遂げる一方、オーパーツーリズムや担い手不足も全国的な課題となっています。

当財団は、京都の現状や社会の潮流を鑑み、京都の魅力を活かした MICE の誘致・開催支援や文化振興に取り組み、ビジネス機会の創出、経済活性化、文化・学術の振興ひいては都市ブランドの向上を図り、京都及び日本の持続的発展に寄与してまいります。

このため、今年度は、次の4点に重点的に取り組みます。

1 古典の日推進事業の展開

次世代への継承を見据えて、「古典の日文化基金賞」を若者たちにフォーカスし顕彰する「村田記念 古典の日文化基金未来賞」に深化させ、「古典の日録」として古典の日フォーラムとの同日開催とし、文化庁との共催や国民文化祭開催県との連携も進め、古典の日推進活動のさらなる広がりを図る。

寛永行幸400年に当たる本年は、実行委員会の一員として江戸村に着目した取組や、京都国立博物館で開催される「源氏物語展」に合わせた事業を実施し古典の全国への普及に努める。更に市町村や各区役所などとの連携を深め、古典を身近に感じてもらう取組を進める。

2 MICE 誘致・国際観光を通じた京都経済への貢献

MICE は、開催時期・場所の分散化や質の高い観光としても重要。主催者による市民講座やサステナビリティへの配慮を重視し、関係者と協力体制を更に強め、京都のブランド向上に資する戦略的な誘致を行う。大学・学術団体等への働きかけや海外商談会などにおいて国立京都国際会館はじめ関係者との連携

による誘致活動、プロモーション活動を強化する。

テックツアーの成果も踏まえ、海外からの企業ミーティング、インセンティブツアー誘致や受け入れ環境整備の拡充に加え、ビジネス機会の創出に努める。また、「ポスト万博シティ」と位置づけられる関西文化学術研究都市への誘致促進にも協力し、京都経済への一層の貢献を図る。

3 本質的な価値・魅力の継承・発展への貢献

文化財等を会場とする「オフサイトベニュー」や、京都迎賓館支援、国際会議等での伝統芸能鑑賞、記念品への伝統工芸品の活用、質の高い通訳サービスにより、訪問者の伝統産業・文化への理解を深めてきた。

観光 MICE の活力を京都経済の活性化、歴史、伝統産業・文化、自然景観等に還元し、次世代の支え手・担い手の育成に繋げる取組が重要。京都の本質的な価値の理解を一層重視し、国際会議をはじめとする MICE の効果的な誘致や開催支援に努め、全国の文化継承にもつなげる。

また、これらを持続的に継承・発展させることの重要性を訴える「京都 MICE 基金」についても理解・協力を求める。

4 関係団体との連携推進・組織強化

文化庁プラットフォームや、京都府観光連盟・京都市観光協会などと積極的に連携し、地域・文化振興や観光・経済活性化に貢献する。

引き続き「会員の集い」を開催し、会員の相互の交流を深め、相互の事業発展に資するよう、より効果的な運営に努める他、リニューアルしたホームページやビューロー通信、京都市観光協会とともに発行するニュースレターにより、わかりやすく効果的な情報提供、紹介、斡旋に努め会員満足度の向上を図る。

MICE 京都への国際会議等の誘致状況

国際会議の誘致競争が全世界的に激化する事に対し、令和7年度は誘致や開催支援に対し、予算規模とメニューの内容に厚みを持たす事に成功しました。これを背景に国際会議の主催者様に対し、きめ細やかな誘致支援を継続的に実施する事により、**京都市で開催する国際会議の誘致件数を22件まで伸ばす事**が出来ました。多数の大規模会議を含め、3月

現在において以下の会議誘致に成功しておりますので、お知らせいたします。

今後もこれまで培った誘致力を基に、京都府・京都市や会議施設、MICE 関連事業者と連携して、引き続き誘致を進めてまいります。

会議名	開催期間(予定)	予定参加者数(名)
アジア太平洋歯周病学会 (APSP) 2026	2026年11月5日(木) - 6日(金)	400
iPSC 20th Anniversary Symposium 2026	2026年10月20日(火) - 22日(木)	500
Asian Conference on Innovative Therapies for Diabetes Management (ATTD-ASIA) 2026	2026年12月9日(水) - 11日(金)	800
アジア太平洋医学教育学会 (APMEC) 2027	2027年1月12日(火) - 16日(土)	1,200
第37回世界バイオセンサ会議 (Biosensors) 2027	2027年5月18日(火) - 20日(木)	1,000
第18回国際全身性エリテマトーデス学会 (LUPUS) 2029	2029年5月28日(月) - 6月2日(土)	2,000
第12回世界緑内障会議 (WGC) 2027	2027年4月20日(火) - 23日(金)	3,500
国際姿勢歩行研究学会 (ISPGR) 2027	2027年6月27日(日) - 7月1日(木)	600
世界家庭医療機構の世界学術大会 (WONCA) 2029	2029年6月13日(水) - 6月17日(日)	8,000
第20回世界集中治療医学会学術集会 (WCICC) 2029	2029年9月1日(土) - 9月4日(火)	10,000
International Society for Contemplative Research (ISCR) 2027	2027年5月19日(水) - 5月22日(土)	300

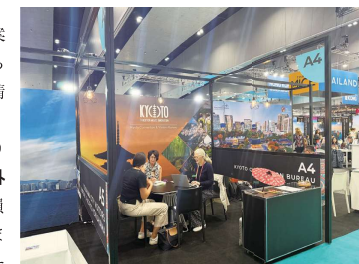
MICE 海外プロモーション (AIME2026に参加)

2月9日～2月11日、オーストラリア・メルボルンにて開催された**アジア太平洋地域最大級の MICE 商談会「AIME2026」**において、昨年に引き続き、**在オーストラリアの京都市海外情報拠点と連携し、京都ブースを出展**いたしました。

AIME はアジア太平洋地域の MICE 産業を結ぶ重要なイベントであり、約750団体以上の出展者が参加し、**約5,000名以上に及ぶ国内外の MICE 関係者が世界各国から参加**しました。

今回の商談会には、オーストラリアを中心に、世界中から招待バイヤー(案件保有者)が参加し、バイヤーが顧客に対して京都での MICE 開催を提案するために必要なユニークベニュー、アクティビティ、ホテル、MICE 施設等の情報提供を行いました。

国内はもとより、世界各国における MICE 誘致競争は年々激しくなっております。そのような中、**令和8年度には、計5つの海外商談会に出展し、海外でのセールス強化を行います。**そのうち、3つの商談会においては、賛助会員事業者様との共同出展機会を設け、オール京都での MICE 誘致を行って参ります(共同出展のご案内は、京都観光 MICE ニュースレターや当財団 WEB ページ等でお知らせいたします。)



商談会の様子

◆ MICE 令和7年度京都市 MICE 会議

当財団では、3月19日に京都市と共に本年度の「京都市 MICE 会議」を開催いたしました。

この会議は、有識者、会議施設、旅行会社、会議運営会社などの MICE に関わる関係者が集まって毎年開催しているもので、今年度は計16名が集まり、本年度の取組や、現在の国際会議開催状況、来年度の予算等を報告した後、京都における MICE 開催の在り方などについて、情報交換・意見交換を実施しました。

特に今年度は京都市で策定中の「京都観光・MICE 振興計画 2030」(仮称)にも触れて、先進的で持続可能な MICE の未来像を示すと共に、当財団からは、今年度の誘致活動報告、「KYOTO MICE TRADESHOW」や、複数の海外商談会へ

の出展、また国際会議の開催を機とした府民・市民、企業への便益可視化、並びに脱炭素の取組などについてご報告いたしました。これに対し、出席された有識者・ステークホルダーの皆様より、京都への MICE 誘致について多様なご意見をいただく事ができました。

当財団では、今後も、京都市をはじめ、ステークホルダーの皆様と連携し、MICE 需要の獲得と開催支援の強化、持続可能な MICE 開催等に取り組んでまいります。



MICE 会議開催風景

◆ MICE 「もうひとつの京都」を発信する MICE プランニングガイド

当財団では、京都府域での MICE 誘致・開催支援の一環として、『京都 MICE プランニングガイド～もうひとつの京都～』を制作し、公開しました。本ガイドは、府内各地の会議施設をはじめ、見学・体験・観光、宿泊施設等の情報を集約した WEB 情報発信媒体です。一部内容を抜粋した冊子も作成し、WEB 上の詳細情報へ誘導することで、効果的な情報提供を図っています。

引き続き、各エリアの DMO やけいはんなコンベンション

誘致推進協議会等と連携しながら、京都市内にとどまらない「もうひとつの京都」での MICE 開催を支援してまいります。

※本冊子を利用した情報発信にご協力いただける賛助会員様は、ぜひご連絡ください。



<https://meetkyoto.jp/ja/prefmice/>



◆ MICE 万博の成果を未来へつなぐ、京都のレガシー創出

大阪・関西万博のレガシーを継承する動きが、京都でも具

体化しています。大阪・関西万博シグネチャーパビリオン「いのちの未来」で展示されたアンドロイドの一部が京都府に無償譲渡され、2月21日・22日にけいはんなオープンイノベーションセンターで公開されました。21日には「アンドロイドお披露目記念シンポジウム」が開催され、同パビリオンのプロデューサーである、いのちの未来研究所客員所長・石黒浩氏らによるトークセッションが行われました。本取組は、ポスト万博シティに位置付けられるけいはんな学研都市における、大阪・関西万博レガシー継承の象徴の一つとして注目されています。



また、当財団が共同代表を務める大阪・関西万博きょうと推進委員会では、3月14日に京都駅前広場でイベントを開催し、公式 SNS を通じた「人のつながり」や情報発信拠点「EKISpot KYOTO」などの京都の万博に向けた取組のレガシーを今後の大型イベント(「第43回全国都市緑化フェア in 京都丹波」「ワールドマスターズゲームズ 2027 関西」など)へと継承していくことを発信するとともに、各イベントの PR を行いました。

今後も、万博で培ったつながりと発信力を生かし、京都の魅力を持続的に発信していきます。



◆ 文化発信 ポッドキャスト配信&街かど古典カフェ、古典の日絵巻第15巻

① ポッドキャスト配信&街かど古典カフェ

平安文学研究者の山本淳子さんの解説と舞台朗読などで活躍されている齊藤由織さんの朗読でポッドキャスト配信してきました「山本淳子の源氏物語解説 朗読とともに」は、昨年5月で休止していましたが、この4月1日に22帖「玉鬘」から再開しました。各帖の見どころを抜粋し、わかりやすい解説に現代語訳と原文の朗読をいつでもどこでも聞くことができ、源氏物語入門にうってつけですのでぜひ聞いてみてください。

再開を前に山本淳子さんを講師にお招きして街かど古典カフェを3月17日に開催し、60人近くの方に受講いただきました。「玉鬘」から「真木柱」までの十帖は、「玉鬘十帖」と呼ばれていて、玉鬘までを振り返りながら源氏物語におけ

る「玉鬘十帖」の意味について、時には笑いを誘いながらの山本さんのナマ解説をお楽しみいただきました。

② 古典の日絵巻第15巻

古典の日のホームページを彩る「古典の日絵巻」は第15巻となります。今回は、古典の日文化基金賞未来賞を受賞された12の団体、個人の方々に、日頃の活動の様子や受賞後のことなどを順に執筆いただきます。活動をより多くの方に知っていただければと思います。第1回目の4月号は、令和4年に受賞された宇治っ子朗読劇団☆Genjiです。

古典の日文化基金賞は、令和8年度から「村田記念 古典の日文化基金未来賞」に生まれかわります。日本の古典、伝統文化に取り組み伝えていこうと努力する若者たちや指導者を顕彰し、応援します。

◆ 文化発信 京都迎賓館参観記念品に新アイテム登場

京都迎賓館は、海外からの賓客を迎える国の迎賓施設として平成17年(2005年)に京都御苑内に開館し、ガイドツアー方式で一般公開されています。当財団では参観記念のオリジナル記念品を企画・販売しており、今春には、カプセルトイ販売機を新設し、限定デザインのマグネットの販売を開始予定です。

販売所は迎賓館を参観されない方もご利用いただけますので、お気軽にお立ち寄りください。※賛助会員様には記念品販売の優待制度があります。



<https://www.hellokcb.or.jp/page.php?page=genjinkan-souvenir>



◆ 文化発信 京都文化振興友の会の新規会員募集中

当財団では、京都の自然、景観、伝統工芸、芸能、文化財、文学、芸術など京都の文化の発信と啓発を行う「京都文化振興友の会」を運営しています。令和8年度から各種催しのご案内、特典、文化財の見学会など取組をこれまでより充実しますので、是非新規入会をご検討ください。

内、特典、文化財の見学会など取組をこれまでより充実しますので、是非新規入会をご検討ください。



募集 HP

◆ 文化発信 当財団のホームページのリニューアルについて

このたび、当財団のホームページをリニューアルいたしました。デザインを一新し、本誌「ビューロー通信」に掲載するなど新たな試みも行っており、今後も、様々な工夫をしながら、効果的な情報発信に努めてまいります。



財団 HP

HPデザイン



新規賛助会員のご紹介 2026年3月31日現在

株式会社 ショウゲン	コートヤード・バイ・マリOTT 京都四条烏丸 (株式会社ジェアー ル東海ホテルズ)	ホリデー・ イン京都五条	ハイアット プレイス 京都	Luxe Estate 株式会社 (東山 四季花木)	東映 (株式会社 ミライトリンク)	フォーシーズンズ ホテル 京都	絃	ハードロック カフェ京都

公益財団法人 京都文化交流コンベンションビューロー(KCVB) 〒600-8009 京都市下京区四条通室町東入西谷餅町78番地 京都経済センター3階

TEL:075-353-3050 FAX:075-353-3055
<https://hellokcb.or.jp>

インボイス制度に係る登録番号 T9130005012622